



国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)

生物多様性地域セミナー in 北海道

2011年から2020年の10年間は「国連生物多様性の10年」です。私たちの暮らしを支える生物多様性の恵みを知り、将来につなげる行動に移す10年間です。
「生物多様性地域セミナーin北海道」では、生物多様性の恩恵を将来の世代へと継承するための愛知目標の達成に向け、UNDB-Jキャラクター「タヨちゃんサトくん」と北海道キャラクター「えこ之助」、札幌市キャラクター「カッコー先生」による「生物多様性キャラクター応援団共同宣言式」、地球いきもの応援団の一員である小菅正夫さんの講演のほか、テーマ別の動物園ガイドツアーを行います。
生物多様性のために出来ることを一緒に考えてみませんか。ご来場をお待ちしています。



2014年

11月16日

12:30-16:00 [日曜日]

会場 札幌市円山動物園 動物科学館ホール
北海道札幌市中央区宮ヶ丘3-1

参加無料・募集定員80名

主催：国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)、環境省、北海道、札幌市
共催：北海道生物多様性保全活動連携支援センター (HoBiCC)、生物多様性自治体ネットワーク



参加申込方法について

下記ウェブサイトより**2014年10月31日(金)**までにお申し込み下さい。
UNDB-J 生物多様性地域セミナーin北海道 参加受付
<http://undb.jp/event/1412/>
※申し込み開始は2014年10月11日(土)からです。
※定員になり次第ウェブサイトによる受付を終了しますので、ご注意ください。

問い合わせ・取材申込先
下記まで電話又はメールにてお問い合わせください。
国連生物多様性の10年日本委員会事務局(島田・片岡宛)
電話:03-5468-8405 E-mail:info@undb.jp



詳細な交通のご案内は、下記札幌市円山動物園ウェブサイトでご確認下さい。
<http://www.city.sapporo.jp/zoo/info/riyo/access.html>

地球のいのち、つないでいこう



タヨちゃん & サトくん

生物多様性地域セミナー

in 北海道

2014年11月16日[日] 12:30 - 16:00

プログラム (予定)	
12:30~	開会式 UNDB-J委員・(一社)日本旅行業協会 北海道支部長 古田 和吉 氏 北海道環境生活部長 川城 邦彦 氏 札幌市環境局長 長岡 豊彦 氏 札幌市円山動物園長 田中 俊成 氏
12:45~	生物多様性キャラクター応援団共同宣言式 UNDB-J「タヨちゃんサトくん」 & 北海道「えこ之助」 & 札幌市「カッコー先生」 生物多様性リーダー任命式 小菅 正夫 さん (地球いきもの応援団)
13:00~	会場移動・着ぐるみ記念撮影  
13:20~	講演 動物園で知る生物多様性 小菅 正夫 さん (地球いきもの応援団)
13:50~	UNDB-Jの活動状況と生物多様性をめぐる最近の話題 環境省 生物多様性施策推進室
13:55~	北海道内における最近の動向 北海道 環境生活部 生物多様性保全課
14:05~	UNDB-J認定連携事業 JTB 地球いきいきプロジェクト (株)JTB北海道 総務部 総務マネージャー 篠原 一朗 氏
14:15~	UNDB-J認定連携事業 円山動物園の生物多様性保全の取組み(動物園・水族館種保存事業) 札幌市円山動物園 飼育展示課長 柴田 千賀子 氏
14:25~	エクスカーション テーマ別に動物園ガイドツアー <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 22%;"> <p>1 excursion アジアゾーンにおける取組み 2012年12月にオープンしたアジアゾーン、3つの施設で飼育している動物の紹介や、地球環境に関する取組みについて紹介します。</p>  </div> <div style="width: 22%;"> <p>2 excursion 北海道の動物と人間との関わり エゾシカ・オオカミ舎、エゾヒグマ館、海獣舎で飼育している動物の紹介と、野生下にいるこれらの動物と人間との関わりについて紹介します。</p>  </div> <div style="width: 22%;"> <p>3 excursion 野生復帰について 猛禽類野生復帰施設、ザリガニ小屋を紹介するとともに、種の保存や生態系の保全について円山動物園の取組みを紹介します。</p>  </div> <div style="width: 22%;"> <p>4 excursion 動物園の森復元について 通常是非公開の動物園の森は、在来種の草花や大木が残っています。中でも、ニホンザリガニやオオムラサキ等に代表される身近な動物に関する活動拠点となる動物園の森について紹介します。</p>  </div> </div>
15:25~	エクスカーション報告会 報告者は4班×1人とし、アンケートも実施。
15:45	閉会挨拶 環境省北海道地方環境事務所長 徳丸 久衛 氏

